

## 即位に想う

庄司木材(株)

庄司 良雄

天皇陛下の退位は明治以来終身在位制となり、実施されておりましたが、宮内庁が2016年8月に高齢化による体力の衰えを理由に退位の思いをにじませた陛下のビデオメッセージを公表したところ、国民の中からもおもんばかりの声が上がり退位を実現する特例法が17年の通常国会で制定されました。昭和8年生まれ85歳ですから納得致しますよね。

それにより、2019年4月30日に退位され、5月1日新天皇即位改元となり、陛下は「上皇」、皇后さまは「上皇后」、秋篠宮さまは皇位継承順1位を意味する「皇嗣殿下」となります。

皇室系図を見ますと

男子には〇〇「仁」という字がつけられております。

女子には〇〇「子」という字が、美智子さま、雅子さま、紀子さまにおいてもあります。

名字はありません。

宮家とは、宮号を賜った皇族の一家のことであり、親王の家を指すこともあります。「宮」とは、元々天皇及び皇族の邸の事を指し、転じて住んでいる皇族を指すに至りました。さらに親王の身位とともに「〇〇宮」という称号を世襲することが認められ、これが宮家と呼ばれるようになりました。

百  
合  
二

三  
笠

(昭和)

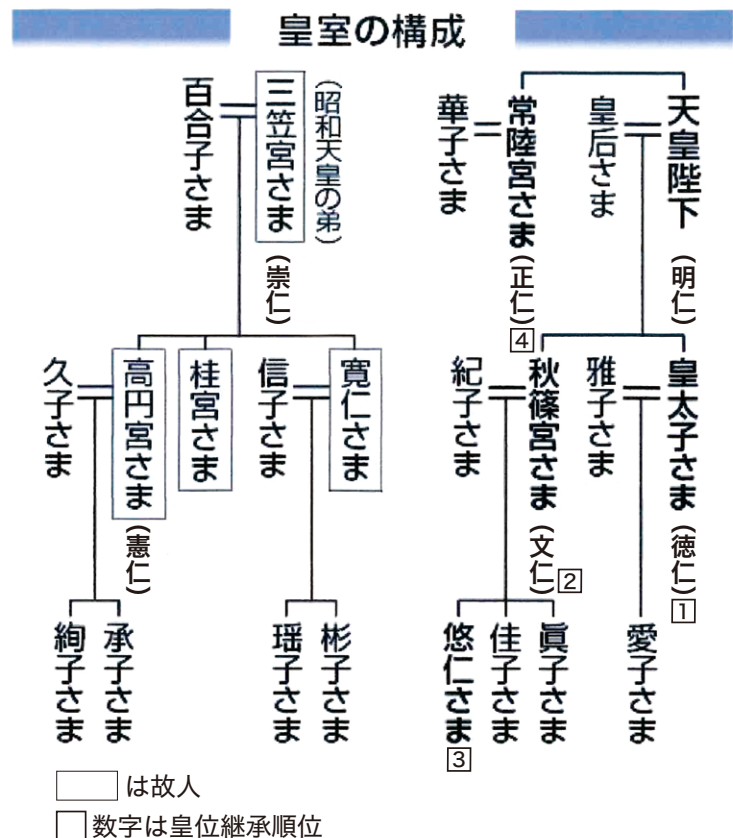
皇室の構成

華  
一  
常

皇  
一  
天

現在、直営の宮家は4つ。常陸宮、三笠宮、高円宮、秋篠宮となり、第二次世界大戦後、それまであった51宮家は皇族より離脱されました。皇族女子は天皇及び皇族以外の者と婚姻した時は皇族の身分を離れます。現状では秋篠宮さまが即位される頃にはいずれの宮家も断絶してしまう可能性があります。

皇太子さまも「浩宮」という宮家であり、「徳仁」という名前でもあります。名簿には「徳仁親王(なるひとしんのう)」



という名で載っておりました。有栖川という宮家を語る詐欺まがいな事件も過去ありましたね。

#### あだ名について

授業中は先生が気を使っていると思われるほど指名されるということは無かったようで、お年を召された先生からは「殿下」と呼ばれていたように記憶しています。私たちは「じい」と呼んでいました。校庭の植木をご覧になって「良い枝ぶりですね」と中学1年生とは思えない発言をされ、それが爺さん臭いということで「じい」となりました。私も何かのはずみで「じい」と発言したところ、振り向かれたことがあり恐縮したのを覚えております。クラスメイトのひとりとしてつけられたあだ名でしたが、高校卒業謝恩会で「G線上のアリア」をソロで演奏されたのは皇太子さまがそのあだ名を受け入れていらっしゃったという事でしょうか。

皇太子殿下は学生の頃からいつも穏やかで冷静。そして何事にもご誠実に努力されており悪ふざけをされることもありませんでした。材木屋の倅の私とはやはり水が違うとすることは多々ありました。それでも材木屋と学習院が縁がない訳でもなく、現在中等科高等科の科長(校長)は現在はありませんが、武市商店・武市和郎社長のご子息で武市憲幸さまが務められております。私もバレー部でお世話になった先輩です。

同じ教室で思春期・青春時代を過ごした同級生が即位し天皇になられることは大変感慨深いものがあります。若くして重責を担われるご苦勞をお察しいたします。ご健康に留意されご公務を全うされますことをお祈りいたします。

#### ※写真

この写真は中等科1年生の時の運動会の写真です。学年対抗リレーで第1走者が私で2番手が殿下でありました。見事激走の末、1年生が優勝いたしました。私は早くもゴシップ記事ではなく女性週刊誌にデビューとなった貴重なお宝写真です。ご近所の方に「あんたの息子が写っているよ」と教えられ買いに行きましたが売り切れていたためそのページだけ頂きました。卒業アルバム他修学旅行、中学高校1年の必修授業沼津遊泳場での赤ふん(赤いふんどし)姿の写真等ありますが、私とのツーショット写真を公開いたします。



1年生8人で各100mを



うしろに続く2、3年生をしりめに



# この力走でみごと金

浩宮さま／中等科初めての運動会で大奮闘

競走には自信のある浩宮さまは学年対抗リレーに1年生代表として出場。みごと先輩たちをひきはなして堂々の1位。ご家族の応援はなかったが、桜にVICTOR

Yと刻まれた金バッジをもらってしたり顔。だが期待の100m競走ではゴール寸前までほとんど一線、トップ争いのいい勝負だったが、僅差で2位と無念の表情。(9月23日 学園院で)



笑顔もてるほどのこの余裕



好スタート。第2走者、浩宮さま



かつこよくバトンタッチ



騎馬戦では馬の先頭役。水入り(?)の大勝負だったが、騎手が倒されマケ。

